

上丸子小学校避難所運営訓練参加者アンケート結果

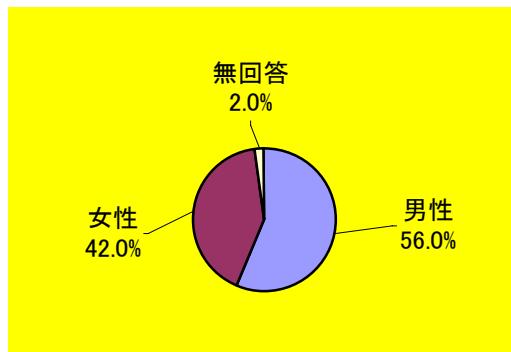
1. 訓練実施概要

- 開催日時 平成22年11月14日(日) 9時から11時30分
- 開催場所 上丸子小学校体育館及びその周辺
- 訓練参加者数 126名(うち次項目の方法により50名にアンケートを実施)
- 総務、情報広報、救護、食料物資、環境衛生、ボランティア時避難者の各班から代表者8~9名に回答を依頼
- 参加委員 青木委員、板倉委員、岡本委員、川連委員、松本委員、村山委員
- 上丸子小学校周辺の7つの町内会と1つの自主防災組織が参加した。
- 避難所(避難所)を利用して、町内会(自主防災組織)、学校関係者が初めて合同で行った訓練であった。
- 参加者は、町内会の役員やPTA関係者が中心でた。
- 初めての試みのため一般参加の呼びかけはほとんど行われなかった。

2. 回答者の基本属性

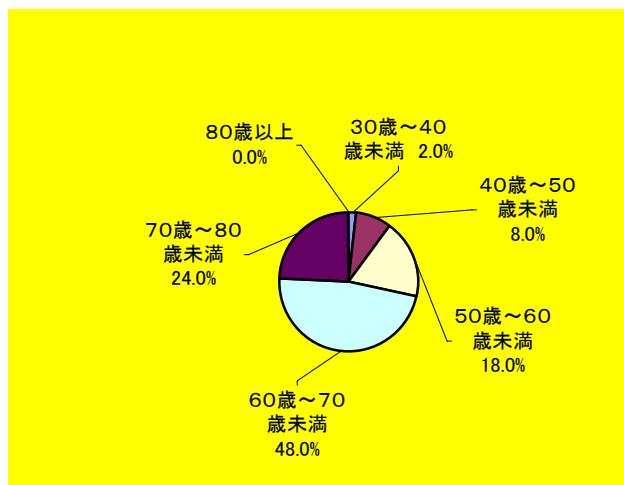
※1 性別を教えてください。(1つに○)

| 区分 | 件数 | 割合 |
|------|----|--------|
| 男性 | 28 | 56.0% |
| 女性 | 21 | 42.0% |
| 無回答 | 1 | 2.0% |
| 回答者数 | 50 | 100.0% |



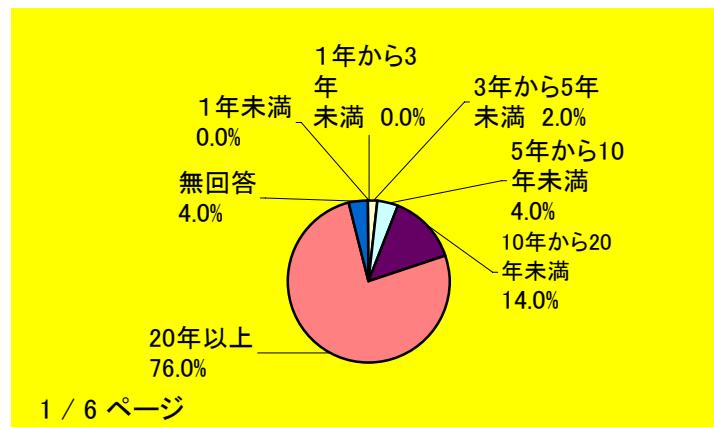
※2 年齢は満何歳ですか。(1つに○)

| 区分 | 件数 | 割合 |
|-----------|----|--------|
| 20歳未満 | | 0.0% |
| 20歳～30歳未満 | | 0.0% |
| 30歳～40歳未満 | 1 | 2.0% |
| 40歳～50歳未満 | 4 | 8.0% |
| 50歳～60歳未満 | 9 | 18.0% |
| 60歳～70歳未満 | 23 | 46.0% |
| 70歳～80歳未満 | 12 | 24.0% |
| 80歳以上 | | 0.0% |
| 無回答 | 1 | 2.0% |
| 回答者数 | 50 | 100.0% |



※3 現在のお住まいに何年住んでいますか。(1つに○)

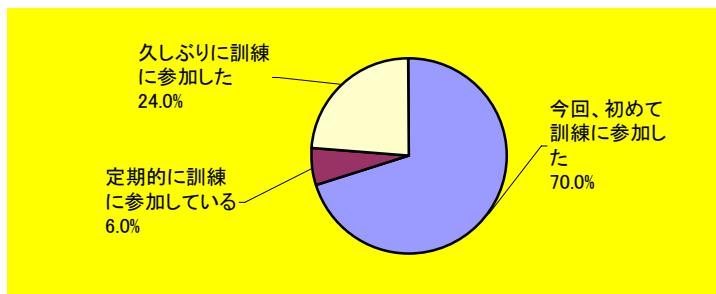
| 区分 | 件数 | 割合 |
|------------|----|--------|
| 1年未満 | | 0.0% |
| 1年から3年未満 | | 0.0% |
| 3年から5年未満 | 1 | 2.0% |
| 5年から10年未満 | 2 | 4.0% |
| 10年から20年未満 | 7 | 14.0% |
| 20年以上 | 38 | 76.0% |
| 無回答 | 2 | 4.0% |
| 回答者数 | 50 | 100.0% |



3. 設問

問1 今までに防災訓練に参加したり見学したことがありますか。(1つに○)

| 区分 | 件数 | 割合 |
|-------------------------|----|--------|
| 今回、初めて訓練に参加した | 35 | 70.0% |
| 定期的に(毎年や2年おきに)訓練に参加している | 3 | 6.0% |
| 久しぶりに訓練に参加した | 12 | 24.0% |
| 回答者数 | 50 | 100.0% |

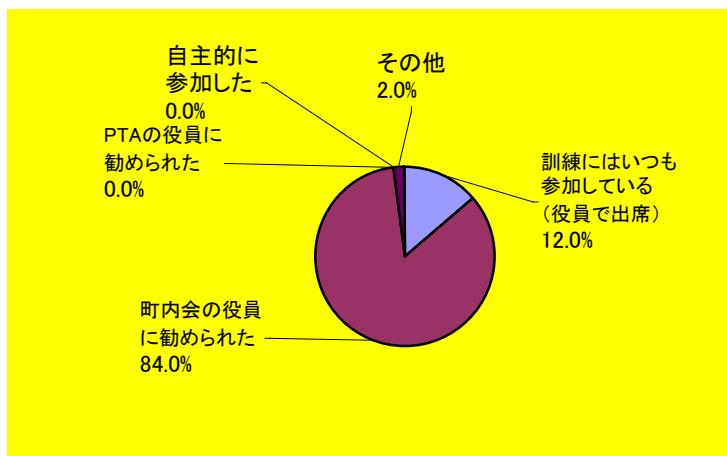


問2 本日の訓練には、どのようなきっかけで参加されましたか。(1つに○)

| 区分 | 件数 | 割合 |
|----------------------|----|--------|
| 訓練にはいつも参加している(役員で出席) | 7 | 14.0% |
| 町内会の役員にすすめられた | 42 | 84.0% |
| PTAの役員にすすめられた | 0 | 0.0% |
| 自主的に参加した | 0 | 0.0% |
| その他 | 1 | 2.0% |
| 回答者数 | 50 | 100.0% |

(その他の回答)

・町内会の役目として参加



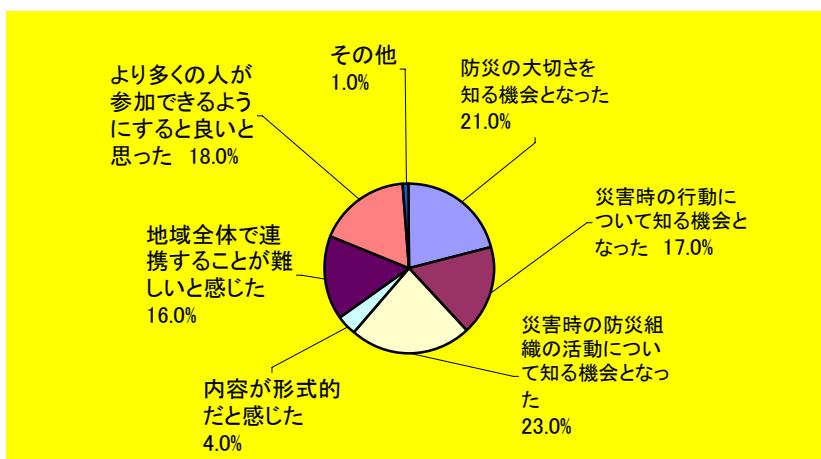
参考資料 2

問3 防災訓練に参加してみてどのようなことを感じましたか。(該当するものから2つに○)

| 区分 | 件数 | 割合 |
|--------------------------|-----|--------|
| 防災の大切さを知る機会となった | 21 | 21.0% |
| 災害時の行動について知る機会となった | 17 | 17.0% |
| 災害時の防災組織の活動について知る機会となった | 23 | 23.0% |
| 内容が形式的だと感じた | 4 | 4.0% |
| 地域全体で連携することが難しいと感じた | 16 | 16.0% |
| より多くの人が参加できるようにすると良いと思った | 18 | 18.0% |
| その他 | 1 | 1.0% |
| 回答者数 | 100 | 100.0% |

(その他の回答)

・寒かった

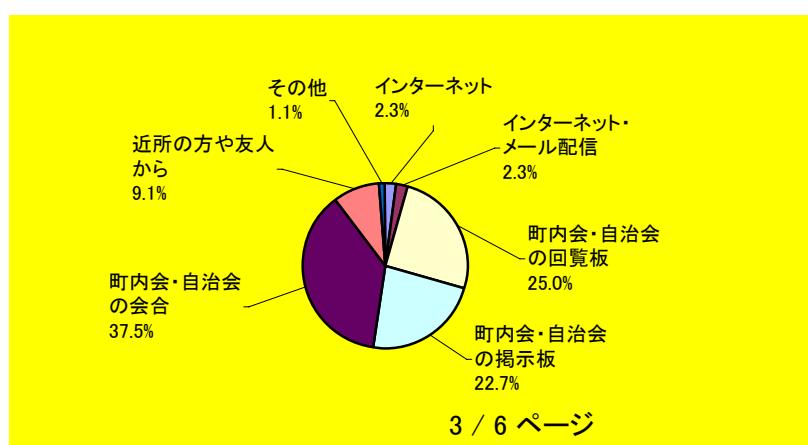


問4 あなたは、地域の防災の取り組み(防災訓練など)の情報をどのように方法で入手しますか。(該当するものすべてに○)

| 区分 | 件数 | 割合 |
|---------------|----|--------|
| インターネット | 2 | 2.3% |
| インターネット・メール配信 | 2 | 2.3% |
| 町内会・自治会の回覧板 | 22 | 25.0% |
| 町内会・自治会の掲示板 | 20 | 22.7% |
| 町内会・自治会の会合 | 33 | 37.5% |
| 近所の方や友人から | 8 | 9.1% |
| その他 | 1 | 1.1% |
| 回答者数 | 88 | 100.0% |

(その他の回答)

・公報紙



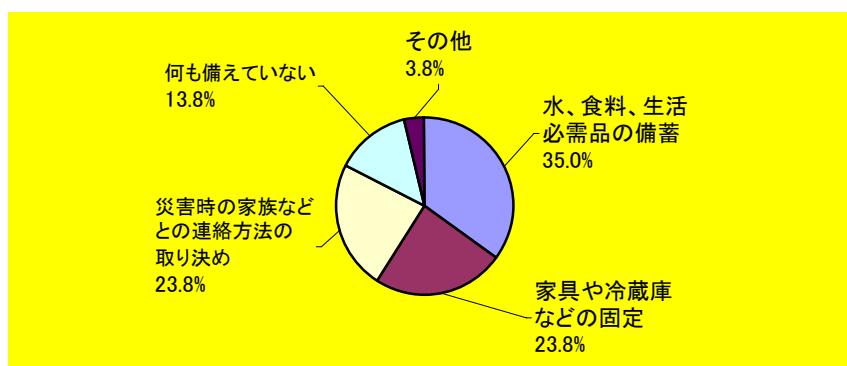
参考資料 2

問5 あなたの家では、災害に備えてどのような準備をしていますか。
(該当するものすべてに○)

| 区分 | 件数 | 割合 |
|---------------------|----|--------|
| 水、食料、生活必需品の備蓄 | 28 | 35.0% |
| 家具や冷蔵庫などの固定 | 19 | 23.8% |
| 災害時の家族などとの連絡方法の取り決め | 19 | 23.8% |
| 何も備えていない | 11 | 13.8% |
| その他 | 3 | 3.8% |
| 回答者数 | 80 | 100.0% |

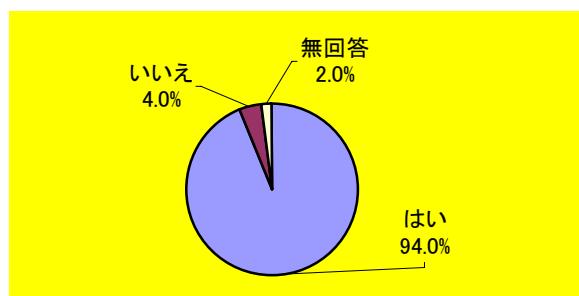
(その他の回答)

- ・特になし。用品のみ準備
- ・特に何もしていないが常に常備食として缶詰などはある。
- ・防災グッズ



問6 自宅で災害に遭ったとき、避難場所・避難所がどこか知っていますか。(1つに○)

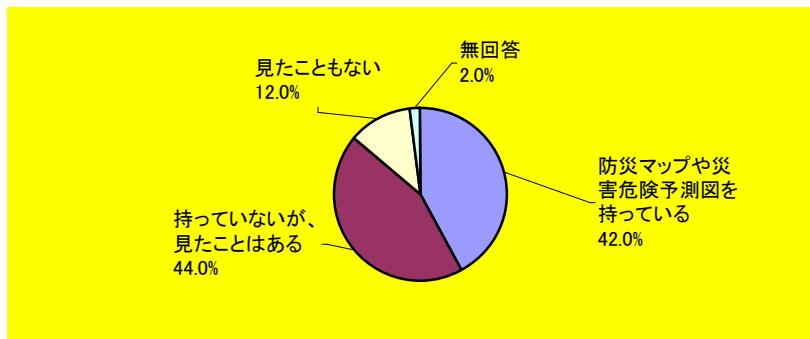
| 区分 | 件数 | 割合 |
|------|----|--------|
| はい | 47 | 94.0% |
| いいえ | 2 | 4.0% |
| 無回答 | 1 | 2.0% |
| 回答者数 | 50 | 100.0% |



参考資料 2

問7 あなたがお住まいになっている地域の防災マップや災害危険予測図(ハザードマップ)などの防災対策資料を持っていますか。あるいは、見たり聞いたりしたことがありますか。(1つに○)

| 区分 | 件数 | 割合 |
|---------------------|----|--------|
| 防災マップや災害危険予測図を持っている | 21 | 42.0% |
| 持っていないが、見たことはある | 22 | 44.0% |
| 見たこともない | 6 | 12.0% |
| 無回答 | 1 | 2.0% |
| 回答者数 | 50 | 100.0% |

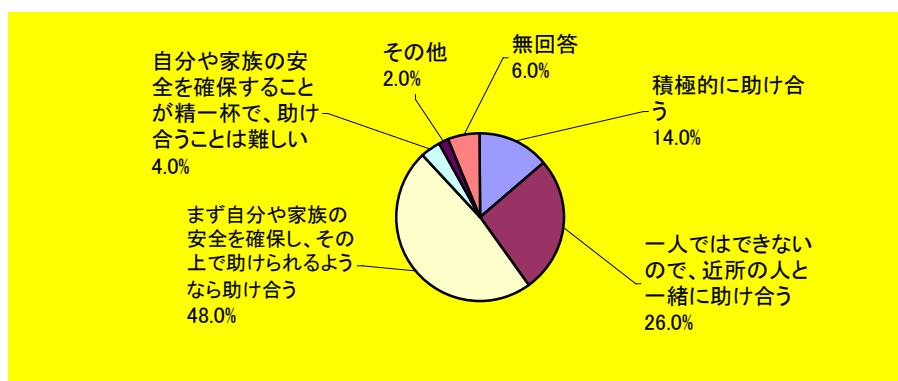


問8 近くに住んでいる災害時要援護者(高齢者、障がい者、外国人、妊婦、乳幼児など)の避難について、あなたは手をさしのべられますか。(1つに○)

| 区分 | 件数 | 割合 |
|----------------------------------|----|--------|
| 積極的に助け合う | 7 | 14.0% |
| 一人ではできないので、近所の人と一緒に助け合う | 13 | 26.0% |
| まず自分や家族の安全を確保し、その上で助けられるようなら助け合う | 24 | 48.0% |
| 自分や家族の安全を確保することが精一杯で、助け合うことは難しい | 2 | 4.0% |
| その他 | 1 | 2.0% |
| 無回答 | 3 | 6.0% |
| 回答者数 | 50 | 100.0% |

(その他の回答)

・要援護者の所在がわからない。



参考資料 2

問9 防災に関して知りたい情報があれば教えてください。

- ・防災マップや災害予想図がほしい。
- ・今日の様な集合はどこから指示ができるのか。また、どの程度の震度によって集合するのか。
- ・高齢者の避難介助の方法
- ・全国から来るボランティアの仕分け(内容)を知りたい。
- ・救護班からのお願いとして、重い人を運ぶときに組立て式の担架では重いので車付きの担架を作って欲しい。
- ・特になし

問10 避難所運営訓練に参加してみて、今後の課題があれば記入願います。

【「今後も実施するべき。もっと知りたい・実施したい」という意見のグループ】

- ・今後も連続して実施した方が良いと思う。
- ・こういった訓練は時々した方が良いと思う。
- ・数度やらなければ役に立たないので時々行う方が良い。
- ・日頃、何も考えていないことを実感した。話し合ううちに疑問点、問題点ばかりが浮彫りになった感じ。ただ、考えさせられる良い第一歩になったと思う。継続が大切だと思いました。
- ・他の事例を紹介して欲しい。
- ・避難所テントの設営もしてみたい。
- ・場所(身近な所で実施する必要がある。)
- ・理想論ではなく、具体論で話し合う必要があると思う。

【「個人や組織の連携が大切である」という意見のグループ】

- ・一定規模以上の集合住宅(マンション等)には、物資・機材の保存備蓄や、訓練等で連携が出来れば良いと思う。
- ・いざという時には混乱するので、統率することの大切さと協力体制、一人一人の意識が大切だと思いました。
- ・行動がばらばらになると思いますので、意思疎通を図る様にしなければと思った。

【「どうしたらよいか不安である。」という意見のグループ】

- ・災害が起きたとき連絡網はどこからくるのか。
- ・震度がどのくらいになったときに集合するのか。
- ・避難所と町会(避難した後)の自主防災組織は?
- ・いざという時にどれだけの事が出来るか不安です。
- ・パニックの際の誘導

【「不足しているものがある。準備が必要である。」という意見のグループ】

- ・色々な意見が出たが具体的に一つずつでも実現していくべきだと思う。例えば、避難場所に指定されている場所には最低限の用品備蓄場所が狭いスペースでよいから確保されていた方がよい。
- ・仮設トイレの設置訓練を行いましたが、マニュアルが判りづらく、時間がかかった。
- ・防災用具倉庫が必要である。
- ・防災倉庫の設置について
- ・基本的なマニュアルの作成
- ・地区において、福祉避難所をもっと増やして欲しい。高齢者にこの体育館の様な所はいかがなものか。近所のホテル、町内会館も考えて欲しい。

【その他】

- ・情報の錯綜による混乱を防ぐため、一元的広報の徹底が不可欠
- ・この訓練の場での意見等が机上の空論で終わらないようにお願いしたと思う。
- ・今回初めて訓練(情報広報班)に参加して、無線機が2台あって1台しか使えないのは問題と感じた。
- ・高齢者が寒い避難所で、しかも狭い所で義歯を外して磨けるコーナーの設置を考えないと誤嚥(ゴエン)性肺炎を起こすと思う。阪神淡路大震災では多数の死亡者が出ていた。関連死を減らすよう希望する。
- ・積極的に参加出来る様に当日広報車で廻ってみたらいかがでしょうか。
- ・ボランティア時避難者対策班に参加したが、実際に本日は役割がなかったので課題はわからない。